

第1回集会 (SADI 阿南、1993)

ホスト：馬原文彦 (馬原医院)

会 場：徳島県阿南市信里「馬原医院新心館」

< 1 日目 > 9 月 1 6 日 (木)

歓迎の辞 稲井 力 (阿南医師会)

記念講演 馬原文彦 (馬原医院)：第一線診療におけるリケッチア症

教育講演 荒瀬誠治 (徳島大・医)：皮膚科の領域からみたリケッチア症

〃 丹下宜紀 (愛媛大・医)：我国の紅斑熱群リケッチア症の病原体

テーマ：臨床と疫学

高田伸弘 (福井医大)

わが国における病原媒介性ダニ類の分布

坪井義昌 (国立予研)

わが国におけるリケッチア症の現況

藤曲正登 (千葉県衛研)

千葉県の恙虫病と紅斑熱の疫学

渡辺 護 (富山県衛研)

富山県におけるツツガムシの分布とつつが
虫病

岩崎博道 (福井医大)

内科診療からみたダニ起因性疾患

誌上発表

西山利正 (奈良医大)

奈良県東吉野村におけるツツガムシ病血清
疫学調査

藤田博己 (大原研)

日本における野兔病とマダニの関係

宮本健司 (旭川医大)

北海道におけるライム病発生の現状

資料説明

平井克哉 (岐阜大・農)

わが国におけるQ熱の概況

< 2 日目 > 9 月 1 7 日 (金)

教育講演 北岡茂男 (新潟産大)：マダニの形態学ならびに生理学の基礎

〃 山口 昇 (埼玉医大・短)：わが国におけるマダニ寄生例の概況

テーマ：フィールドの実際

森 啓至 (千葉県衛研)

千葉県におけるマダニ類の生態学的調査

山本 進 (鹿大・医)

鹿児島市城山公園におけるダニ採集調査

藤田博己 (大原研)

徳島県と高知県の日本紅斑熱発生地におけ
るマダニ相調査とマダニ類から分離された
紅斑熱群リケッチア

疫学ツアー

バスにて、紅斑熱患者発生地、海亀博物館、薬王寺などの見学とマダニの採集。夜は会場横の広場で、バーベキューパーティと阿波踊り実演。

< 3日目 > 9月18日(土)

教育講演 金子清俊(愛知医大): ツツガムシによるリケッチア媒介様式

〃 須藤恒久(前秋田大・医): リケッチア症との関わり 20年の回想

テーマ: 病原体の検出

石倉康弘(富山県衛研) PCRによる紅斑熱群リケッチア DNAの検出法
—マダニからの検出の試み—

粕屋志郎(岐阜大・医) 岐阜の *Rickettsia tsutsugamushi*; 単クローン抗体による分類

東 勇三(モナミ動物病院) 犬ライム病の研究(マダニ侵襲犬における臨床症状と血液性状)

東 勇三(モナミ動物病院) 犬の神経症状を伴ったライム病の4例

石畝 史(福井県衛研) 野鼠および寄生マダニからのボレリア分離

矢野泰弘(福井医大) マダニ体内における微生物の電顕観察

誌上発表

藤崎幸蔵(家畜衛試) *Teileria sergenti/bufeli/orientalis* 群
原虫の分類

須藤千春(名大・医) 野鼠から分離されたエールリヒヤ属リケッチアについて

総括 小林 譲(前愛媛大・医)

全体会議 組織委員会: 組織作りと今後の方向性について討議された。